

2) アグリマネジメント学科

【1年生】

区分	種別	No	科目	単位	授業時間数	コマ数	科目の内容		
技術力	農業実習	A-1	基礎演習	2	32	16	演習	・農作業に必要な技能の基本 ・肥料、農薬等の計算方法 等	
		A-2	農業機械実習	1	32	16	実習	・トラクターの運転操作 ・動力噴霧器、刈り払い機、運搬車の構造と取扱い ・エンジンの分解、組み立て等（農業機械士研修）	
		A-3	専門実習（野菜）	27	800	400	実習	・野菜（露地、施設）の実習 ・現地視察	
			（花き）				実習	・花き（切り花、鉢花・花壇苗）の実習 ・現地視察	
			（果樹）				実習	・果樹（カキ・ブドウ等）の実習	
			（機械）				実習	・農業機械の専門的技術実習（農業機械士研修）	
			（茶）				実習	・茶（摘採・加工）の実習	
			（水稻）				実習	・水稻（田植・収穫・調製）の実習	
		（畜産）	実習				・畜産技術の視察研修		
		専門技術理論	B-1	リーディング野菜生産	1	16	8	講義	・リーディング品目等、野菜全般の栽培技術、生理生態 ・県内野菜の生産状況 ・施設、資材
	B-2		リーディング花き生産	1	16	8	講義	・リーディング品目等、花き全般の栽培技術、生理生態 ・県内花きの生産状況 ・施設、資材	
	B-3		リーディング果樹生産	1	16	8	講義	・リーディング品目等、果樹全般の栽培技術、生理生態 ・県内果樹の生産状況 ・施設、資材	
	B-4		水田作物生産	1	8	4	講義	・水稻、麦、大豆等の栽培技術、生理生態 ・県内作物の生産状況	
	B-5		大和茶生産	1	8	4	講義	・茶の栽培技術、生理生態 ・大和茶の生産状況	
	B-6		畜産技術	1	8	4	講義	・大和牛、大和肉鳥等、畜産の技術、管理 ・県内畜産の生産状況	
		農業技術理論	C-1	植物保護	2	32	16	講義	・野菜、花き、果樹等の病害、虫害防除 ・雑草防除 ・鳥獣害対策 等
	C-2		土壌肥料	2	32	16	講義/演習	・講義：土壌環境、土壌の性質、養分、肥料、調査診断法 等 ・演習：調査器具の使用法、土壌の採取、測定法、簡易分析法 等	
	C-3		農業薬剤	1	16	8	講義	・農薬等の知識と取扱い	
	C-4		農業機械	1	16	8	講義	・トラクター等の用途、特性、性能（農業機械士研修） ・エンジン、動力装置等の構造、機能、各種燃料 等	
	C-5		植物生理と育種	1	16	8	講義	・発芽、光合成、栄養、花芽分化、ホルモン等の生理 ・植物育種法と新品種の育成	
		経営・マネジメント力	D-1	農業簿記	2	32	16	講義	・実務例を通じた複式簿記一巡の流れ
	D-2		農業経営ビジョンⅠ	1	10	5	講義	・県内の主要農産物の経営概要	
	D-3		農業経営ビジョンⅡ	1	10	5	講義	・農業経営の実態及び経営診断等	
	D-4		情報処理Ⅰ	2	32	16	演習	・ICT活用の基礎（ワープロ文書作成ソフト・表計算ソフトの基礎）	
	D-5		GAP（農業生産工程管理）基礎	1	16	8	講義/演習	・GAPの意義、手法、認証と実際の取り組み方法	
	D-6		GAP（農業生産工程管理）実践	1	-	-	実習	・実習工程管理チェックリスト等によるGAPの実践	
マーケティング力	E-1	アグリビジネスイノベーション	1	16	8	講義	・マーケティングによる生産から流通、販売までの実践理論と具体的事例紹介		
もてなし力	F-1	川下ニーズ販売実習	1	-	-	実習	・市場出荷、農産物直売所及びイベントでの販売実習		
地域活用力	G-1	地域ブランド農産物	2	32	16	講義	・農林振興事務所の業務を知るとともに、県内の地域特産物の産地事例を学ぶ		
	G-2	奈良学入門（フード学科共通）	1	16	8	講義	・奈良県の歴史・風土・文化と、奈良の食をとりまく幅広い知識を学ぶ		
総合	H-1	特別講義	2	20	10	講義	・公開講座、経営講座等		
	H-2	食材活用ワーキング（フード学科共通）	2	22	11	講義/演習	・フードクリエイティブ学科・アグリマネジメント学科合同のグループで、食材となる農産物の良さを活かしたメニュー開発を行う		
	H-3	就農基礎講座	3	44	22	講義	・全員がいずれかを選択。卒業後の進路に向けた現地見学を含む講座		
	H-4	就職基礎講座							
計				63	1362	681			

【2年生】

区分	種別	No	科目	単位	授業時間数	コマ数	科目の内容	
技術力	農業実習	A-1	農家現地実践実習	30	960	480	実習	・指導農業者等、先進農家での現地実習 ・期間：品目に応じて数ヶ月～1年
		A-2	プロジェクト実践実習				実習	・原則、学生ごとに担当圃場での実践的な栽培実習 ・就農後の営農計画を想定してプロジェクト課題を設定
	専門技術理論	B-1	実践技術Ⅰ	2	24	12	講義	・実践実習の作目に対応した選択制(野菜、花き、果樹)の実践的技術
		B-2	実践技術Ⅱ	2	24	12	講義	・実践実習の作目に対応した選択制(野菜、花き、果樹)の高度専門技術
		B-3	実践技術Ⅲ	2	24	12	講義	・実践実習の作目に対応した選択制(野菜、花き、果樹)の生産から販売、経営計画
	農業技術理論	C-1	環境保全型農業	1	16	8	講義	・環境保全型農業の概要と現状 ・現地事例 等
		C-2	バイオテック最先端技術	1	16	8	講義	・バイオテクノロジーの最先端技術と農業分野への応用
		C-3	環境リスクマネジメント	1	12	6	講義	・防災情報、気象災害 ・気象と作物生産
	経営・マネジメント力	D-1	農業政策	1	16	8	講義	・国、県の農業振興、新規就農者支援施策 ・制度資金と補助制度、農地法・農業振興地域制度 ・農業共済制度・農業法人、知的財産権 等
D-2		情報処理Ⅱ	2	32	16	演習	・ICT活用の応用とプレゼンテーション力の習得	
D-3		GAP(農業生産工程管理)実践	1	-	-	実習	・実習工程管理チェックリスト等によるGAPの実践	
マーケティング力	E-1	農産物流通	1	16	8	講義	・流通、中央卸売市場のしくみ ・農産物直売所、JA、生活協同組合、量販店による流通	
	E-2	6次産業化プラン	1	16	8	講義/演習	・これからの6次産業化のあり方(ケースメソッド)	
	E-3	海外農業情勢	1	8	4	講義	・世界の食料情勢と農産物輸出の現状	
もてなし力	F-1	川下ニーズ販売実習	1	-	-	実習	・市場出荷、農産物直売所及びイベントでの販売実習	
	F-2	食の安全・安心	1	14	7	講義	・食品安全基本法、食品衛生法、肥料取締法、農薬取締法、JAS法、トレーサビリティ 等	
	F-3	おもてなし入門	2	20	10	講義/演習	・マナー、接遇 ・県内事例での現地研修	
地域活用力	G-1	地域ブランド農産物	2	32	16	講義	・農林振興事務所の業務を知るとともに、県内の地域特産物の産地事例を学ぶ	
	G-2	農産物活用演習	2	20	10	講義/演習	・農産物活用の手法やメリットについて現地事例も交えて学ぶ	
総合	H-1	特別講義	2	20	10	講義	・公開講座、経営講座等	
計				56	1270	635		

- 教育計画の策定上、コマ数が記載よりも超過する場合、超過分は補講扱いとする。
- 学校行事、東海近畿ブロック行事等については、教育計画を調整のうえ実施する。
- 「授業時間数」とは、1授業時間を45分とした時間数をあらわす。(修業科目等履修規定より)
- 単位数は、原則として「講義」・「演習」・「講義/演習」は16授業時間で1単位、「実習」・「講義/実習」は32授業時間で1単位とする。

【資格・特別教育等】

詳細は90～93ページ

科目	対象者	時期(予定)	日数	内容	
大型特殊免許(農耕車限定)	受験希望者	6月・9月・1月	0.5日×5	実習・試験	・大型特殊免許(農耕車限定)取得に向けた実技講習
フォークリフト運転技能講習	受験希望者	夏期休業中	4日	講義・実習	・最大荷重1t以上のフォークリフトの運転作業に必要な知識と技能の習得
小型車両系建設機械運転特別教育	受験希望者	冬期休業中	2日	講義・実習	・機体重量3t未満の車両系建設機械運転に必要な知識と技術の習得
アーク溶接特別教育	受験希望者	夏期休業中	3日	講義・実習	・アーク溶接作業に必要な知識と技能の習得
刈払機取扱作業安全衛生教育	受験希望者	夏期休業中	1日	講義・実習	・刈払機の適切な取扱方法についての知識と技能の習得
危険物取扱資格	受験希望者	夏期休業中	2日	講義・試験	・危険物の取扱にかかる知識 ・試験：年4回(5,8,11,2月)
毒物劇物取扱資格	受験希望者	11月・2月 (試験日)		通信講座 ・試験	・毒物劇物の取扱にかかる化学・法令知識
日本農業技術検定	受験希望者	7月・12月 (検定日)		資料配付 ・試験	・農業についての知識・技能の習得度を測る検定(1・2・3級)
農業簿記検定	受験希望者	7月・11月 (検定日)		試験	・農業経営に必要な記帳・管理方法の習得(1年次に授業あり)
狩猟免許	受験希望者(2年生のみ)	7月・8月・11月 (試験日)		講習会 ・試験	・狩猟に必要な知識と免許を取得
食品衛生責任者講習	受験希望者(2年生のみ)	6月	1日	講義	・食品営業施設に配置が必要な資格取得のための講習(校外で受講)
農業関連企業ガイダンス	希望者	6月	1日	面談形式	・就職先検討のための農業法人等との面談
インターンシップ実践実習	希望者(2年生のみ)	受入先の指定日	約10日間	業務体験	・県内農業法人や農業関連企業でのインターンシップ